



AirBadminton
The New Outdoor Game

エアバドミントン

ガイドライン 日本語版

Version 2.0 2021





エアバドミントン

ガイドライン 日本語版

Version 2.0 2021

翻訳 日本バドミントン協会国際部 小柳尚久

Translation by Neil Koyanagi Badminton Japan

著作権 : BWF 世界バドミントン連盟

初版 2020年9月

BWFの許可なしでの販売、複製、配布等を禁止する。



BWF 世界バドミントン連盟

Unit No.1 Level 29, Naza Tower

Platinum Park 10 Persiaran KLCC, 50088 Kuala Lumpur, Malaysia

www.airbadminton.sport

airbadminton@bwfbadminton.org

ご挨拶

下記の個人及び団体のエアバドミントン開発への多大な貢献に対して御礼申し上げます。

プロジェクト及びガイドライン開発

- David Cabello デヴィット カベロ
- Ian Wreight イアン ライト
- Rodrigo Pacheco ロドリゴパンチェコ

プロジェクト貢献

- Nanyang Technological University 南洋理工大学
- University of Alicante アリカンテ大学
- University of Malaya マラヤ大学
- Vizius Sports Vizius Sports

詳細情報

エアバドミントンプロジェクトに関する情報は多言語にて入手可能
ガイドラインは下記のリンクよりダウンロード出来ます。

www.airbadminton.sport





目次

Part1 概要

01. はじめに	9
02. エアバドミントンガイドライン	10
03. エアバドミントンのメリット	10
04. バドミントンの起源	11
05. 国際バドミントンの統括運営	11
06. オリンピックとその他の世界大会	12
07. ビジョン、ミッション、目標	13

Part2 エアバドミントンの楽しみ方

08. ゲームのルール	15
09. プレーコート面	15
10. コートサイズ	16
11. デッドゾーン	17
12. プレーヤー	17
13. サービス	18
14. 推奨スコアリングシステム	20
15. コートの向きと安全性について	21

Part3 用具

16. エアシャトル	23
17. ネット	24
18. コートライン	25
19. ラケット	25

Part4 エアバドミントンの活動

20. BWF シャトルタイム	27
21. エキシビション	27
22. エアバドミントン大会	28
23. コミュニティプロジェクト	30

Part5 導入手順

24. エアバドミントンの推進目標	33
25. 戦略的アプローチ	34
26. 国内での実施	35

Part6 よくある質問

27. よくある質問	37
------------	----

概要



01. はじめに	9
02. エアバドミントンガイドライン	10
03. エアバドミンゴンのメリット	10
04. バドミンゴンの起源	11
05. 国際バドミンゴンの統括運営	11
06. オリンピックとその他の世界大会	12
07. ビジョン、ミッション、目標	13

Part1 概要

01. はじめに

2019年、世界バドミントン連盟（BWF）はグローバル開発パートナーであるHSBCと共に、中国広州で行われた式典において新しい屋外スポーツであるエアバドミントンとエアシャトルを立ち上げました。

エアバドミントンは、世界中の公園、庭、道路、運動場、ビーチなど、あらゆる年齢層やスキルの人々がハード面、芝生、砂の上でバドミントンを楽しむ事を目的とした、新しい開発プロジェクトです。



ご存じの通りバドミントンは、世界中でとても人気があり、健常者、障害者を問わず誰もが楽しめるインクルーシブなスポーツとして3億人以上が参加し、その健康と豊かな社会的メリットにより多くの人々に愛されています。

ほとんどの人が最初にバドミントンを体験するのは屋外の環境です。この事を踏まえて、BWFは誰もがこのスポーツに簡単に接する事が出来るように新しい感覚のエアバドミントンとエアシャトルを開発しました。

バドミントンがハード面、芝、砂の3つの異なる屋外でプレーされ、どんな場所でも多くの人々がこのスポーツへ参加する事が我々のビジョンであり、このガイドラインでは世界の人々を魅了するビーチでのイベント開催などを盛り込んだ構成となっています。

02. エアバドミントンガイドライン

エアバドミントンガイドラインは、新しい屋外スポーツに関するさまざまな要素についての理解を深めるとともに、より多くの人々が楽しみながら体を動かす事ができるようにその活動計画の参考となる事を目的としています。



03. スポーツのメリット

エアバドミントンは、あらゆる年齢、性別、能力の人々が新しい屋外スポーツで成功と楽しさを体験できるインクルーシブなデザインとなっています。誰もが楽しむことのできるバドミンントンの優れた健康メリットにより、全ての人々がスポーツを通じて幸福を育む事が出来る理想的なツールです。

シングルス、ダブルス、トリプルのいずれのイベントにおいても、参加者に多大なメリットをもたらし、心と身体、社会的な健康を求める人々にとってはまさにうってつけの楽しく、エキサイティングなゲームです。

また、BWFのシャトルタイム・スクール・プログラムは、子ども達が学校の中外でアクティブで健康的な生活を送るという原則に基づいており、エアバドミントンがスクール・プログラムの柱として発展する大きな可能性を秘めています。

BWFのビジョンは、すべての子どもたちに生涯プレーする機会を与える事です。

04. バドミントンの起源

バドミントンの正確な起源は不明ですが、シャトルコックとバトルドールという板状のラケットを使ったゲームが、2000年以上前の中国、日本、インド、シヤム、ギリシャなどで行われていたようです。

1856年から1859年にかけて、「バトルドールとシャトルコック」として知られるゲームが、現代のゲームへと進化し始め、イギリスのボーフォート公爵の邸宅「バドミントン・ハウス」で競技の起源となるバドミントンゲームが行われたという定説があります。

この頃、インドのプーナでも同様のゲームが行なわれ、1877年にはバドミントンの競技規則が制定されました。

「バドミントンハウス」で行われた「バトルドールとシャトルコック」は、2人以上の間でシャトルを打つことによって、できるだけ長くシャトルを空中に保つことを目的としていましたが、現代はその逆で競技のラリーをできるだけ早く終わらせることがゲームの目的になっています。

1893年、イギリスから国際的にこの競技を運営するために、イングランド・バドミントン協会が設立されました。

05. 国際バドミントンの運営統括

国際バドミントン連盟（IBF）は1934年に設立され、カナダ、デンマーク、イングランド、フランス、アイルランド、オランダ、ニュージーランド、スコットランド、ウェールズの9つのバドミントン協会が創設メンバーでした。

2006年、IBFはその名称を世界バドミントン連盟（BWF）に変更しました。

BWFは国際オリンピック委員会（IOC）公認の世界バドミントン運営統括団体です。

BWFには190以上の加盟団体があります。BWFのメンバーは、一部の例外を除き、各国のバドミントン統括団体です。各大陸連盟は、アフリカ、アジア、ヨーロッパ、オセアニア、パンアメリカの5つのオリンピックリングを代表しています。

Continental Confederations

- Badminton Africa www.badmintonafrica.com
- Badminton Asia www.badmintonasia.org
- Badminton Europe www.badmintoneurope.com
- Badminton Pan Am www.badmintonpanam.org
- Badminton Oceania www.badmintonoceania.org





06. オリンピックとその他の世界大会

1992 年以来、バドミントンは夏季オリンピックの種目となりました。バドミントンでは、次の 5 種目で金、銀、銅の合計 15 個のメダルを獲得することができます。

- 男子シングルス
- 女子シングルス
- 男子ダブルス
- 女子ダブルス
- 混合ダブルス

各地域（アジア、アフリカ、ヨーロッパ、オセアニア、パンアメリカ）の選手がオリンピックに出場。

パラバドミントンは、2020 年東京からパラリンピックの競技種目に組み込まれました。

また、バドミントンは 1995 年以来スペシャルオリンピック、1985 年以来デフリンピックスの主要な競技種目となっています。

バドミントンのインクルーシブ社会に関する詳細は、以下のウェブサイトをご参照下さい。:

<https://development.bwfbadminton.com/inclusivity>



07. ビジョン、ミッション、目標

BWF ビジョンメッセージ

すべての子どもたちに生涯プレーする機会を。

エアバドミントン ビジョンメッセージ

世界中のあらゆる年齢、能力の人々に、いつでもどこでもバドミントンをする機会を提供する。

エアバドミントン ミッションメッセージ

新しいコンセプトにより、世界的な参加と認知度を高め、より魅力的なバドミントン競技を創造する。

エアバドミントンの目標

エアバドミントンのBWF2020-2024 戦略目標には、以下の要素が含まれています。:

1. エアバドミントンを世界的組織的に実施し、公共の屋外スペースにコートを整備することで、参加を促進し認知度を向上させる。
2. 健康的な野外活動としての競技普及を支援するため、競技会を含む各国国内体制を整備する。
3. プロジェクトの成長と実行を支援する為に、パートナーシップとネットワークを構築する。
4. ブランドや小売業者と協力し、エアシャトルと関連用具が世界的に手頃な価格で入手できるようにする。
5. 各大陸連盟においてエアバドミントンを発展戦略の不可欠な一部として位置づける。



エアバドミンントンの 楽しみ方

08. ゲームのルール

15

09. プレーコート面

15

10. コートサイズ

16

11. デッドゾーン

17

12. プレーヤー

17

13. サービス

18

14. 推奨スコアリングシステム

20

15. コートの向きと安全性について

21

Part2 エアバドミントンの楽しみ方

エアバドミントンは、基本的に従来のバドミントンと類似していますが、ゲーム、戦略、テクニックに関するいくつかの違いがあります。

08. ゲームのルール

ゲームのルールは、以下の方法で得点を獲得する事です。:

- エアシャトルを相手コートに着地させる
- 相手にエアシャトルをアウトさせる
- 相手にエアシャトルをネットさせる
- エアシャトルを相手の身体に触れさせる

09. プレーコート面

エアバドミントンは、ハード路面、公園、庭、道路、運動場、芝生、ビーチなどの砂面など世界中のどこでもプレーできるようにデザインされています。

すべてのプレー面は、できるだけ平らで均一であることが重要であり、石や穴などプレーヤーにとって危険な状況でないように注意する事が大切です。

コンクリートやアスファルトの代用品として、合成床材を使用する事も出来ます。



10. コートサイズ

多くのテストとデータ収集の結果、プレーコートは、ダブルスとトリプルは16m×6m、シングルスは16m×5mの長方形で、コートの周りは1m以上のフリーゾーンとするよう推奨されています。

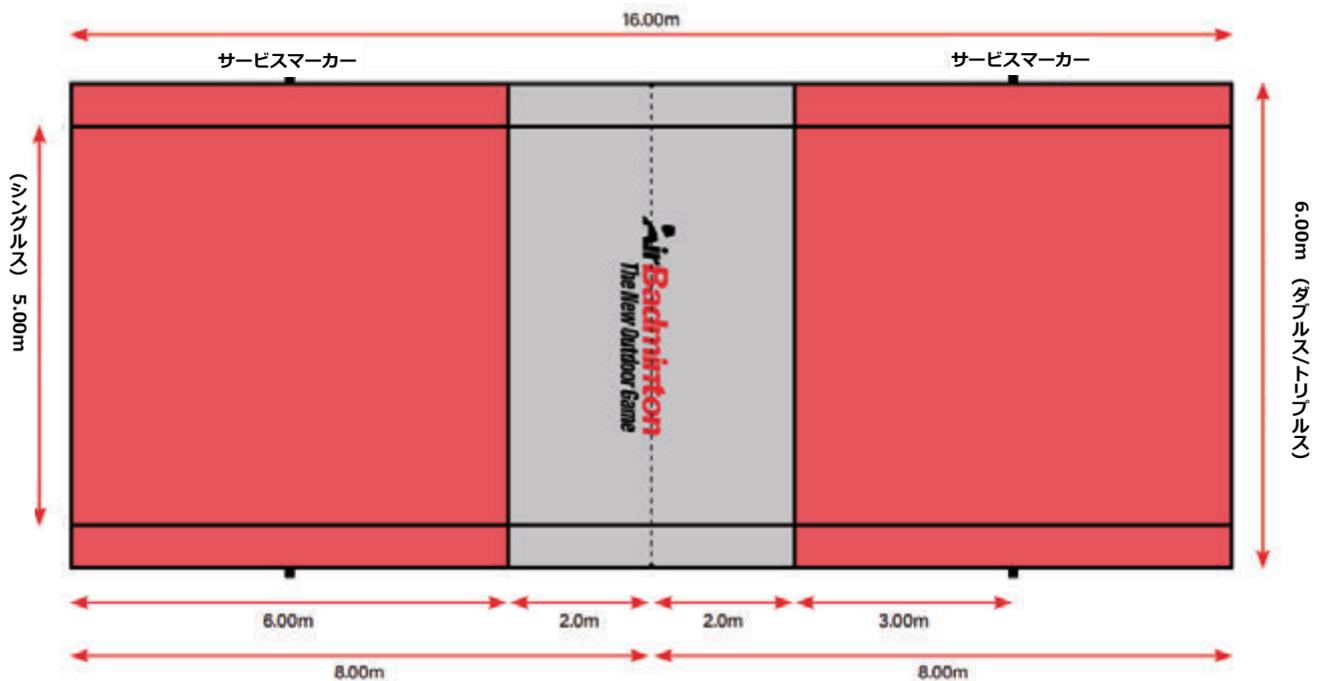
コートの長さは、従来のバドミントンコートの13.4mよりも若干長くなっていますが、これは、コートの前面に2mのデッドゾーンを設けてネットエリアから離れた位置でのラリーを増やした為で、エアシャトルの飛行性能に適合しています。

新しいコートサイズにより、長いラリーが可能となり、プレーをより楽しめるようになりました。

ネットを支える支柱は、各サイドラインの外側、サイドラインから1.0メートル以内に設置します。

- 芝およびハード面のコートでプレーする場合、ポストの高さはコート表面から1.55m
- 砂面の場合、ポストの高さは1.5mとし、ネットの上端はコート表面から1.45mとする。

ビーチや砂面の場合、ネットの高さを1.45mにする事により、ミスが減り、ラリー数が伸びるという分析データがあります。

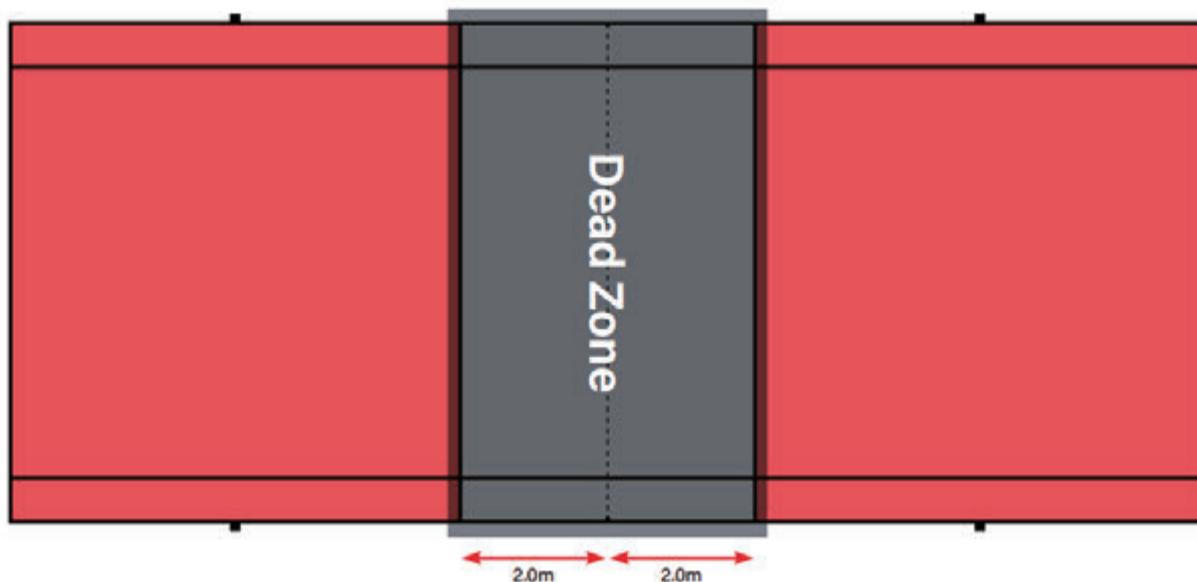


エアシャトルの空気力学上、出来る限りコートは風向きに対して横向きに設置し、風の影響を受けにくいようにする必要があります。

11. デッドゾーン

テストの結果、エアシャトルはネットショットのコントロールが非常に難しいことが確認された為、ネットエリアから2mのデッドゾーンを設け、ネットから離れたストロークを促進し、ラリー展開を容易にしました。

プレイヤーはエアシャトルを打つためにデッドゾーンの中に入る事は出来ません。
(打球後ならば入ってもセーフになります。)



12. プレーヤー

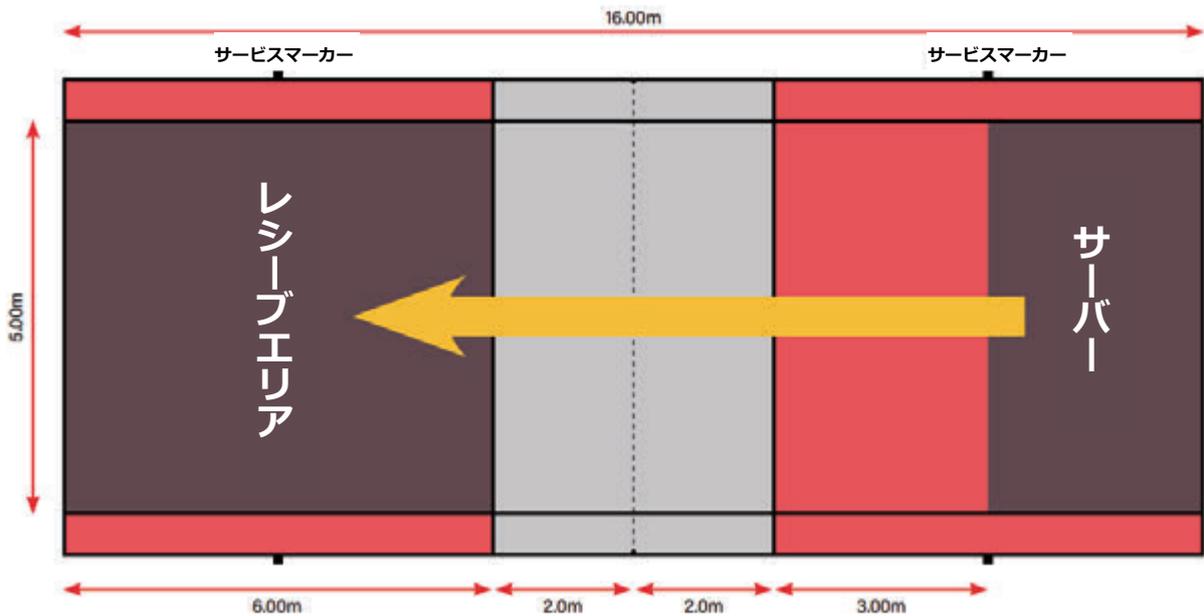
エアバドミントンは、シングルス（片側1人制）、ダブルス（片側2人制）、トリプルス（片側3人制）でプレーします。

トリプルスの場合、同じ選手が2回連続して返球する事は出来ません。次のリターンを自分以外のプレーヤーに任せなければならないので多くの動きが生まれ、ゲームの戦略的要素が高まりました。

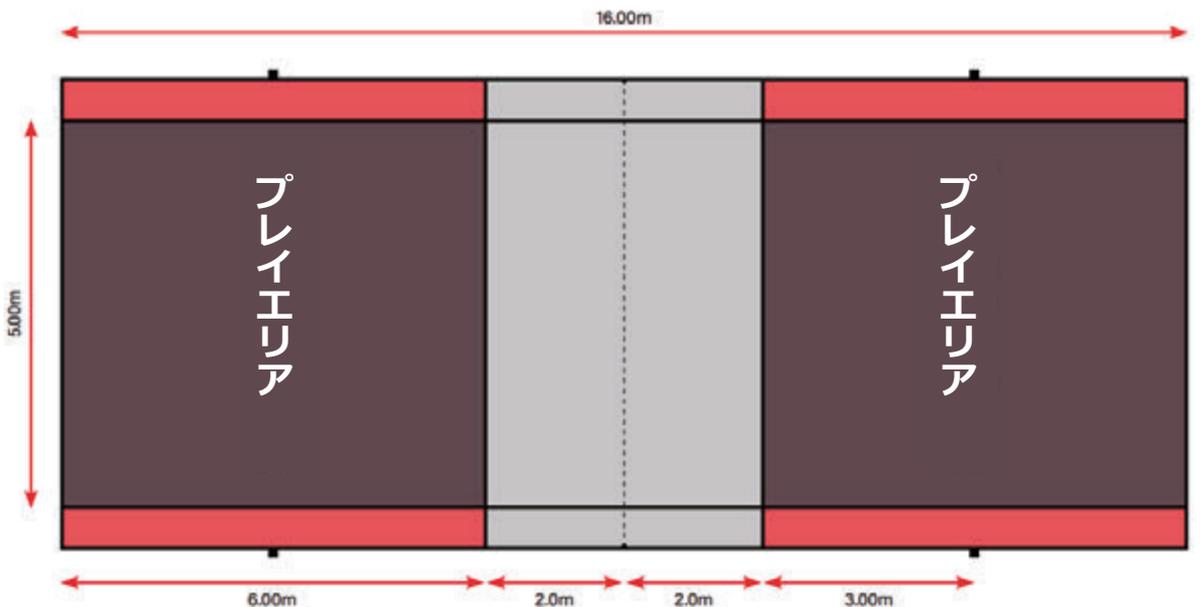


13. サービス

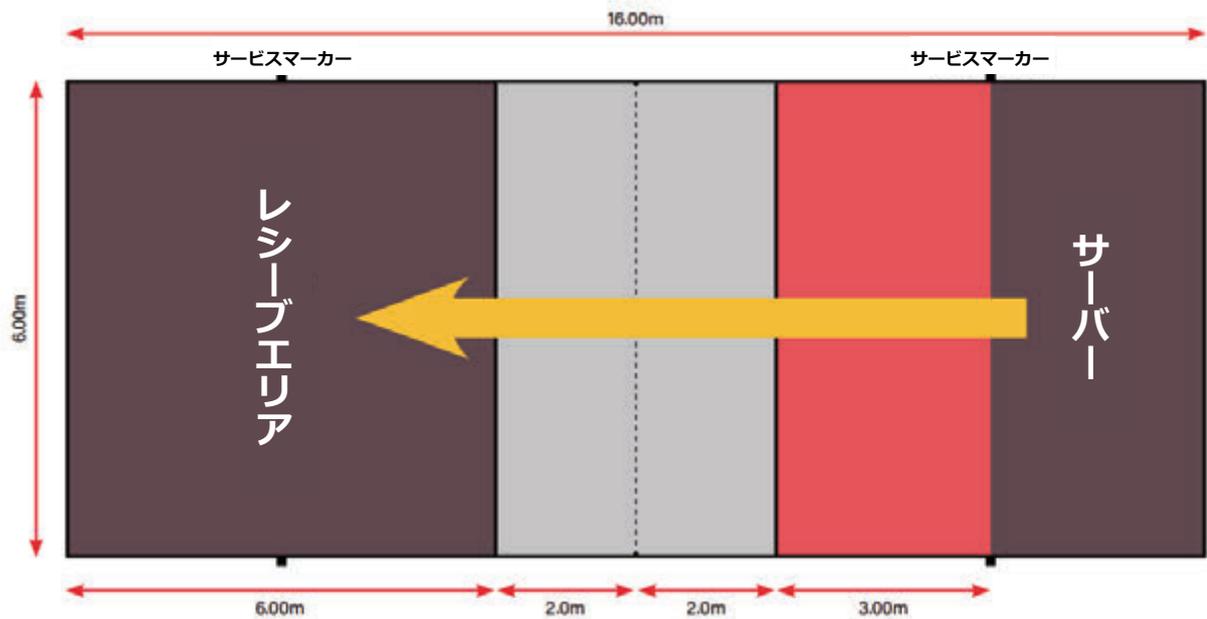
サイドライン上にはっきりと見える 3m のマーカーを設置します。
 プレーヤーはコート内このマーカー後方から、両足を静止させてサービスを打たなければなりません。
 サーバーは、エアシャトルを敵陣の 2m ラインを越えればどこに出しても構いません。
 従来のバドミントンとは異なり、コートを左右のサービスコートに分けるセンターラインはありません。
 エアシャトルの全体は、インパクトの時点でネットの高さより下でなければならず、打球後にはサーバーのラケットから上方向に飛んで行きます。



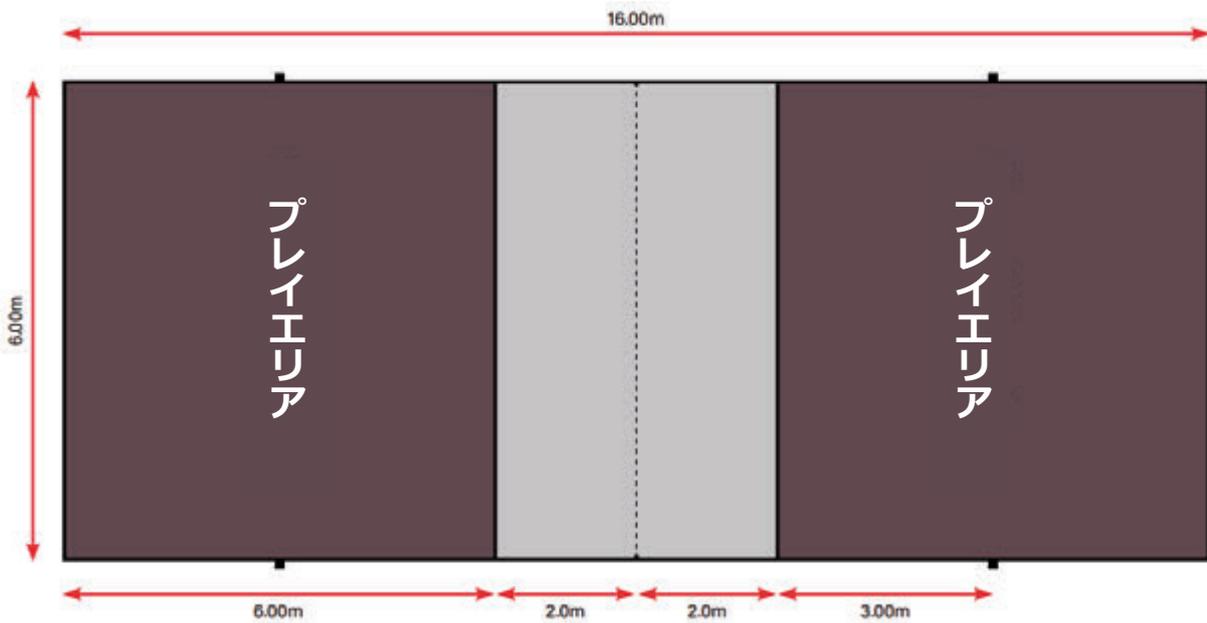
シングルのサービスは 2m ラインを越えた相手のプレーエリア内のどこにでも打ち込むことができます。



色の濃い部分がシングルのプレーエリアでその外側はアウトとなります。



ダブルスとトリプルスは、相手側の広範囲なプレーエリアにどこでもサービスを打つことが出来、レシーバー側はどのプレーヤーもサービスを返球することができます。



サービスの後、ダブルスのラリーはプレーエリア全体で行われます。

14. 推奨スコアリングシステム

エアバドミントンのレクリエーション活動で BWF が推奨するスコアリングシステムは、11 ポイント 5 ゲームマッチです。ただし、地域の事情により他の方式を採用する事ももちろん可能です。

主な注意事項

- 10 オールで同点の場合、先に 2 点リードした方が勝ちとなる。
- 12 オールとなった場合、13 点目を取った側が勝ちとなる。次のゲームは勝った側が先にサービスを行う。
- ポイントが 6 点に達した場合、および各ゲームの終了時にチェンジエンドを行う。
- ゲーム間のインターバルは120秒以内とし、ポイントが6点に達した時には 60 秒以内とする。



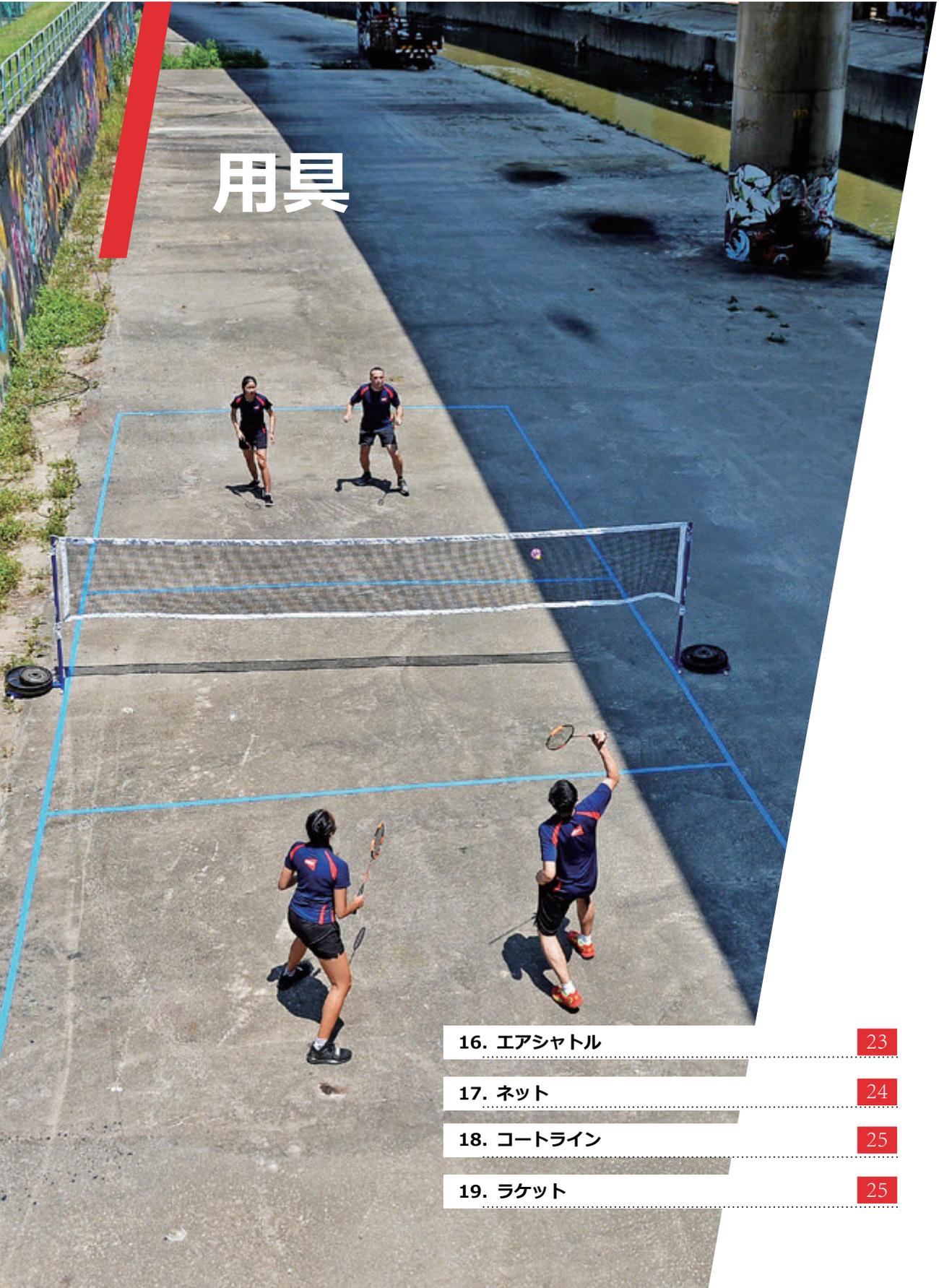
15. コート方向と安全性について

より良いエアシャトルのパフォーマンスを可能にする為に、コートは出来る限り風向に対して横向きに設置する事を推奨しています。

太陽の眩しさを軽減する為、コートは南北に設置する事を推奨します。又、コートが強風から避けられる場所に設置するのが望ましいでしょう。



用具



16. エアシャトル 23

17. ネット 24

18. コートライン 25

19. ラケット 25

Part3 用具

16. エアシャトル

エアシャトルの開発は、シンガポールの南洋理工大学スポーツ研究所（ISR）との5年間の共同プロジェクトにより実現しました。

人々が屋外でバドミントンをより積極的に体験できるよう、風に対する抵抗力を高めた新しい屋外用シャトルコックを開発するという構想から始まったのです。

主に考慮したのは、同じラケットでプレー出来、飛行性能、回転反応、耐久性に優れているという点でした。

2014年、私たちは研究所（ISR）と性能基準と設計パラメータの開発を目的とした覚書を交わしました。

その後、テスト用のプロトタイプ・シャトルの開発を製作するため、2つ目の覚書を交わしました。

主な基準

- シャトルコックは、従来のインドアシャトルと同様の軌道、打球音、打球感を持つ事。
- 湿度の変化による影響が少なく、同様の飛行性能を保つ事。
- 横風や軸風による影響が最小限であること。
- 時速12km（秒速3.3m）までの風の中でプレーできること。
- シャトルコックは耐久性があり、コストパフォーマンスが良いこと。

2015年から2018年にかけて、30以上のプロトタイプが開発され、厳密なテストが行われて来ました。

2018年初頭に理想的なデザインが確認され、その後、パイロットプログラムの一環としてアリカンテ大学とマラヤ大学による独自の研究を経て、初心者からオリンピックレベルの選手グループを使ってプロトタイプのテストが行われました。

このテスト結果が分析され、主要設計要素についての特許出願がなされました。

2020年3月、BWFは遂にエアシャトルを世界市場に導入しました。



17. ネット

エアバドミントンのビジョンは、できるだけ多くの人々に、いつでもどこでもバドミントンをする機会を提供する事ですので、設営が簡単である事が不可欠となります。

支柱

ネットを支える支柱は、各サイドラインの外側 1.0m 以内に設置します。

- 芝生やハード面のコートでプレーする場合、ポストの高さはコート表面から 1.55m とする。
- 砂面の場合、ポストの高さは 1.50m とし、表面からのネットの上端はコート中央で 1.45m とする。

ネットの高さを 1.45m にすることで、ミスが減り、ラリー数が伸びるという研究結果が報告されています。

ネット

網目は 1.5cm 以上 2.0cm 以下とし、濃い色の太い紐を使用します。

- 縦は 80cm 以上 1m 以下、幅は 6m 以上とする。
- ネットの上部と下部を 5.0cm の白いテープで縁取ることを推奨する。そのテープの中にコードまたはケーブルを通して補強する。
- ネットの両端は、上下のコードを支柱に固定して張力を確保する。

携帯用ネットシステムも非常に人気があり、ほとんどのスポーツ用品店で購入する事が出来ます。



18. コートライン

16mのサイドラインが2本、6mのベースラインが2本、6mのデッドゾーンラインが2本あります。コートと左右のサービスコートに分けるセンターラインはありません。

ダブルス/トリプルのコート幅をシングルスに変更するには、各サイドラインを0.5メートルずつ内側に移動させる必要があります。

コートラインの幅は4~5cmとし、地上表面の色とのコントラストをはっきりさせる必要があります。砂や天然芝の場合、ラインを耐性のあるリボン素材にすると良いでしょう。

- 伸縮ロープを各コーナーに取り付け、埋設アンカーディスクまたはロングペグに接続する。
- 伸縮ロープの使用により、境界線を所定の位置に保ち、プレーヤーが足をとられて怪我をする可能性を最小限に軽減する効果が期待できます。

コンクリートやアスファルトの路面では、コートラインは地面にしっかり粘着する耐性のある素材のテープにするか、路面に直接マーキング又はペイントするようにします。



19. ラケット

エアバドミントンの試合は屋外の環境で行われるため、風や突風があるとエアシャトルの飛行性能に影響します。バドミントンのショットのパワーの多くは、ストリングから生まれる為、ストリングの張力がゲームにどのような影響を与えるかを知ることがとても重要です。

エアバドミントンは、従来のラケットと同じようにプレーできるように設計されています。しかし、エアバドミントンをプレーする際は、屋外でのプレーを考慮し、低めのテンション（8~9kg/17.5~20ポンド）で、耐久性の高いストリングを使用することを推奨しています。

エアバドミントンの活動



20. BWF シャトルタイム

27

21. エキシビジョン

27

22. エアバドミントン大会

28

23. コミュニティープロジェクト

30

Part4 エアバドミントン活動

20. BWF シャトルタイム

シャトルタイムは BWF の学校を対象としたプログラムであり、現在 5 大陸、130 カ国以上で実施されています。

このプログラムは、学校でバドミントン世界一人気のあるスポーツのひとつにする事を目標にし、子供たちが学校内外で、健康的で活動的なライフスタイルの一環としてのびのびとプレーする事を奨励しています。

世界中の多くの国で、シャトルタイムの活動は屋外の環境で行われている事を踏まえ、BWF は現在、エアシャトルを使い、エアバドミントンの体験をより充実したものにし、誰でも簡単にプログラムを楽しめるようにしています。

シャトルタイム・プログラムの詳細については
www.bwfshuttletime.com
 をご覧ください：



21. エキシビション

バドミントンイベント、スポーツフェスティバル、スポーツ大会などにエアバドミントンを出展することは、バドミントンの潜在的な参加者に直接エアバドミントンを体験してもらうまたとない機会です。

エアバドミントンのエキシビションの目的は、次のようなものがあります。：

- 参加人数を最大化する事。
- 安全で健常者、障害者を問わず誰もが参加できるイベントとする事。
- 人々が成功体験と楽しさを味わえるようにする事。
- エアバドミントンのゲームがどのようなものかを視覚的に伝える事。
- エアバドミントンのこれからの情報を提供する事。

エアバドミントンのエキシビションを計画実施する際に考慮すべき点には次のようなものがあります。：

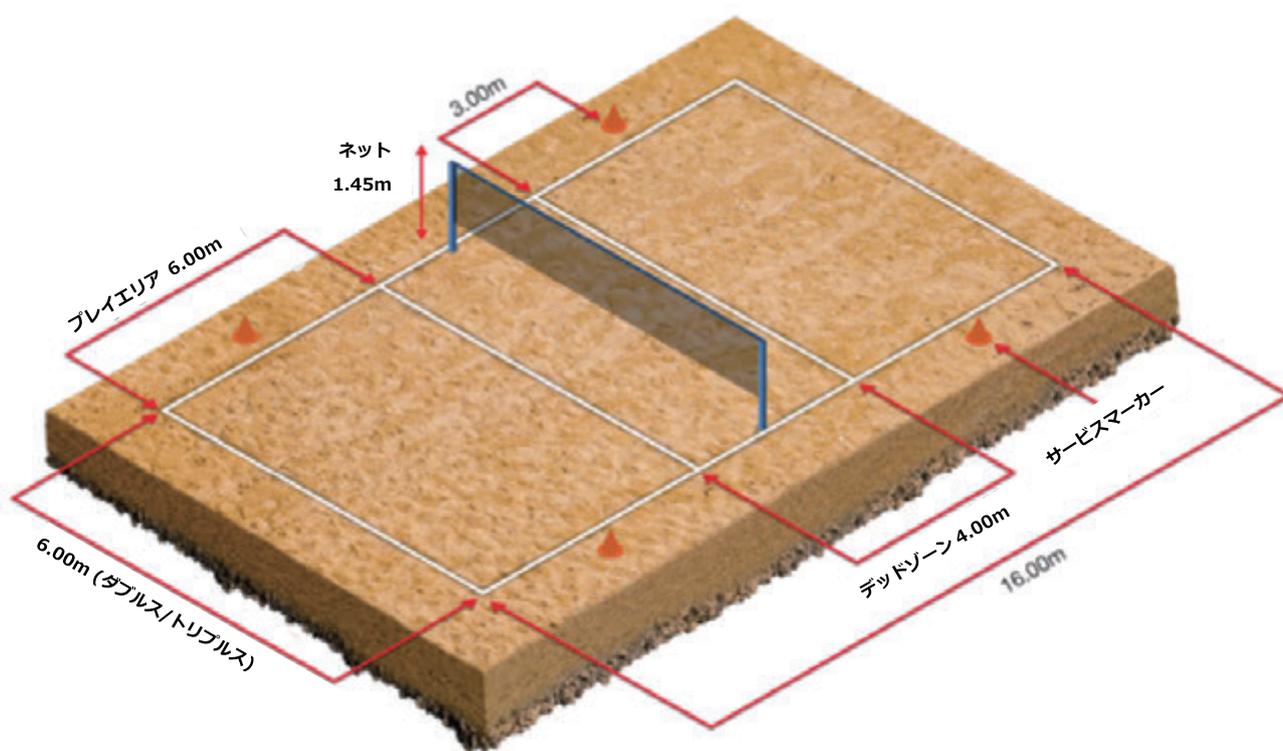
- 実施が行われる屋外エリア周辺には十分なスペースを確保する事。エアバドミントンのコート1面は、約 18m×8m (片側 1mのスペースを含む)
- コートを強風や日差しなど、屋外でのプレーを妨げる要素から守る為、周りに囲いのある場所を選ぶと良い。
- 砂や芝生を使用する場合、コートラインは耐性のある素材で作られたリボンを使用する。
- コンクリートやアスファルトの表面を使用する場合、コートラインは、地面にしっかりと粘着する耐性のある素材で作られたテープにするか、表面に直接マーキング又はペイントする。
- コンクリートやアスファルトの代わりに、合成床材を使用することも可能。
- コートの設営には、従来のバドミントンネットシステムを使用する事も出来る。

22. エアバドミントン大会

砂浜でのプレーは身体全体を使う効果的な運動で、プレー中にもトレーニングとは感じない楽しさを味わう事が出来ます。

22-1 サンドコートの仕様

- コートは 16m×6mの長方形とし、幅 5cm のコートラインを引く。
- コートラインは、耐性のある素材で作られたリボン等で作成し、見分けやすく、青か白が望ましい。
- すべてのコートラインは、その線が定める区域の一部を構成するものとみなす。
- コートの表面からのネットの上端は、コートの中央で 1.45m、サイドライン上で1.46m とする。



エアバドミントン サンドコート

22-2 リレーチーム競技

BWF はエアバドミントン競技会において、男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルス、トリプルのリレーチーム競技を推奨しています。

チームの最低人数は男女各 2 名以上、最大で男女各 4 名までとします。

競技は、女子ダブルス 1 試合、男子ダブルス 1 試合、ミックスダブルス 1 試合、トリプル 2 試合の計 5 試合で構成され、トリプル第 1 試合は男子 2 名、女子 1 名、トリプル第 2 試合は女子 2 名、男子 1 名とします。

22-3 スコアリングシステム

競技の勝者は、先に 100 点に達したチームとする。

- 第 1 試合はどちらかのチームが 20 点に達するまで行う。
(リードしているチームが 10 点に達した時点でエンドを変更)
- 第 2 試合は第 1 試合のスコアから開始し、そのスコアから続ける。
ただし、第 1 試合の敗者チームは最低 10 点又は実際の得点数から開始する。
- 第 2 試合はどちらかのチームが 40 点に達するまで行う。
(リードしているチームが 30 点に達した時点でエンドを変更)
- 第 3 試合は第 2 試合のスコアから開始し、そのスコアから続ける。
ただし、第 2 試合の敗者チームは最低 20 点又は実際の得点数から開始する。
- 第 3 試合はどちらかのチームが 60 点に達するまで行う。
(リードしているチームが 50 点に達した時点でエンドを変更)
- 第 4 試合は第 3 試合のスコアから開始し、そのスコアから続ける。
ただし、第 3 試合の敗者チームは最低 30 点又は実際の得点数から開始する。
- 第 4 試合はどちらかのチームが 80 点に達するまで行う。
(リードしているチームが 70 点に達した時点でエンドを変更)
- 最終第 5 試合は第 4 試合のスコアから開始し、そのスコアから続ける。
ただし、第 4 試合の敗者チームは最低 40 点又は実際の得点数から開始する。
- 第 5 試合はどちらかのチームが 100 点に達するまで行い勝者を決定する。
(リードしているチームが 90 点に達した時点でエンドを変更)

22-4 トリプルの注意点

トリプルはテンポが速くエキサイティングな競技であり、チームメイト間の優れた戦略とチームワークが鍵となります。

全てのゲームにおいて、サーブ権は、ゲームを開始した最初のサーバーから、レシーブ側のいずれかのプレーヤー、最初のサーバー側のパートナーの 1 人、レシーバー側のパートナーの 1 人、サーバー側の 3 人目のプレーヤー、レシーバー側の 3 人目のプレーヤーと順番に移るものとします。

サービスが返された後、ラリーでは、エアシャトルはサーバー側のプレーヤーとレシーブ側のプレーヤーのいずれかが交互に打つことができますが双方とも同じプレーヤーが 2 回続けてリターンを打つ事は出来ません。

22-5 天候条件

天候は、プレーヤーに危害を与える危険がない状態でなければなりません。又、風速は通常のプレーが出来る状況である必要があります。

アンバィアは風速計を用いて風の状況を計測し、大会開催時の風速は時速 12km (秒速 3.3m) を超えるべきではありません。

22-6 服装

タンクトップ、T シャツやショートパンツなどゆったりとして通気性のあるスポーツウェアが推奨されます。

23. コミュニティープロジェクト

BWF は、多くの地方団体が屋内スポーツ施設を確保する問題に直面している事を認識しています。その為、バドミントンの機会提供は効果的で経済的、かつ持続可能である必要があります。

エアバドミントン施設は、個人の健康と豊かさに貢献するスポーツの場を創造するだけでなく、社会との繋がり、コミュニティへの帰属意識、社交の場など、より広範囲でポジティブなコミュニティ作りに繋がります。

エアバドミントンの常設コートは、地域コミュニティにおいて幅広い利用やイベントを可能にし、地域全体の活性化にも貢献するでしょう。

エアバドミントンコミュニティプロジェクトの目的には次のようなものがあります：

- 都市周辺に公共コートを整備する事により、エアバドミントンの利用度を向上させる。
- 活用されていないスペースを改善し、一般市民がエアバドミントンを楽しむ機会を創出する。
- 地方団体と協力し、利用可能な公共スペースにエアバドミントンの常設コートを設置する。

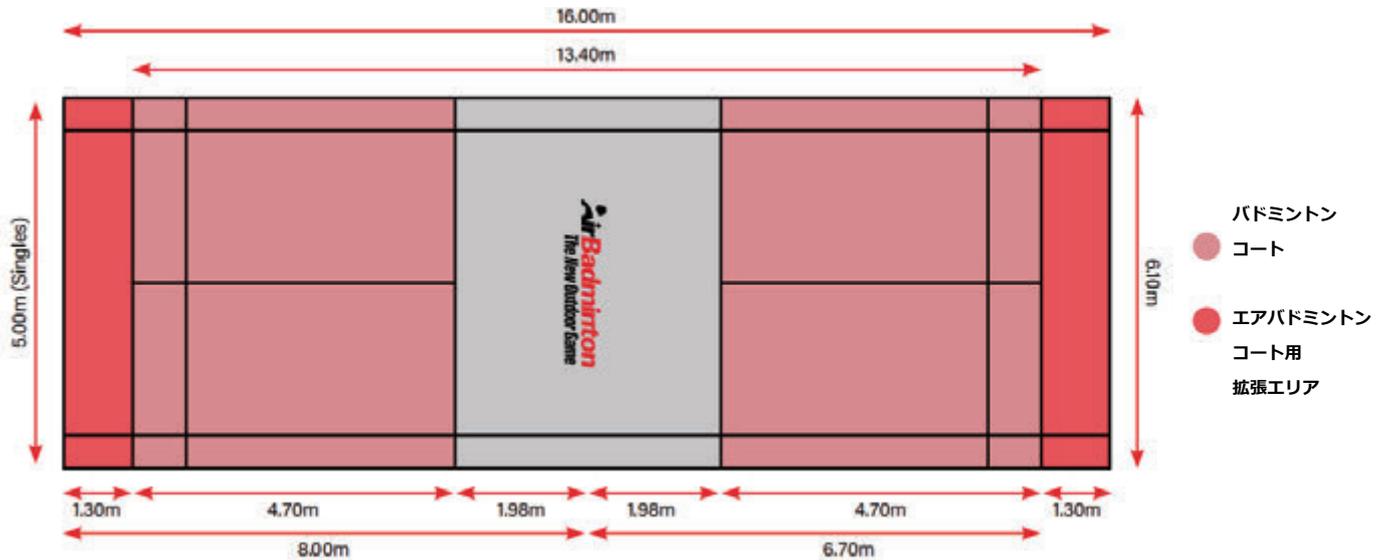
常設コートに推奨される材質は全天候型で耐久性に優れており一年中使う事が可能です。

エアバドミントンを常設できる可能性のある場所を見つける為に、各国バドミントン協会は適切な調査と計画を行って行くといいでしょう。



複合バドミントンコート

エアバドミントンは、既存のバドミントンコートを後方に1m延長するだけでプレーする事ができます。最小限の改造により両方のゲームを楽しむ事ができます。

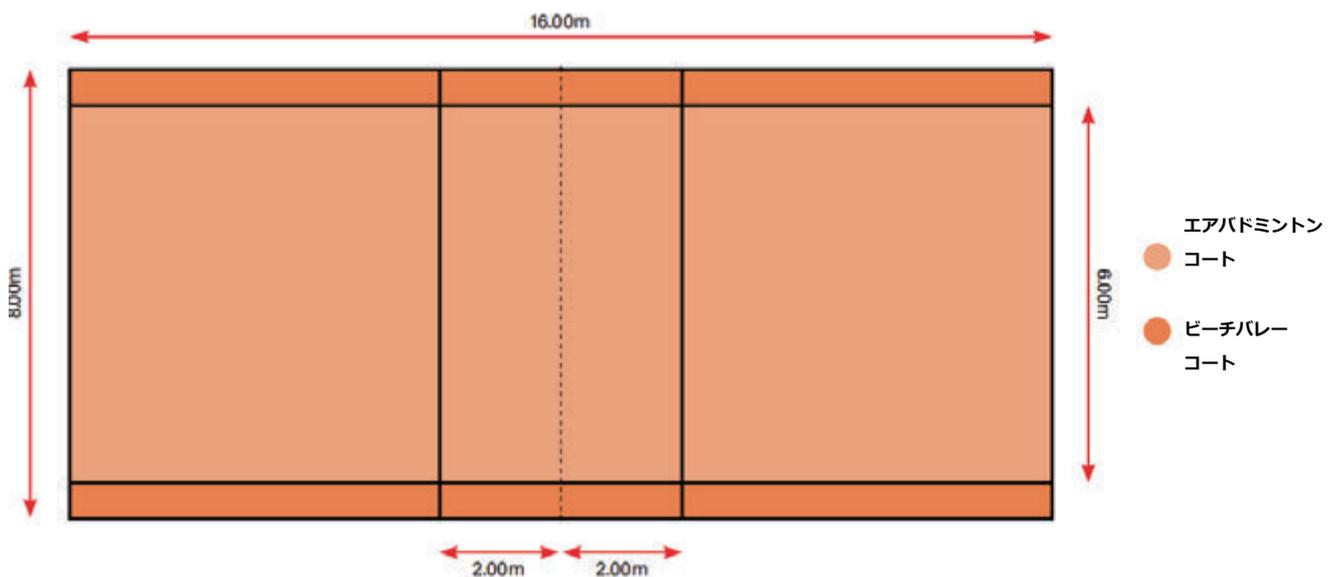


ビーチバレーコートのエアバドミントンコートへの転用

多くのビーチや公共の公園にはビーチバレーコートがありますが、あまり活用されておらず、市民の積極的な参加を増やすという目的を達成出来ていない状況を多く見かけます。

これらのコートは、手頃な価格でサステナブルな新しいレクリエーションを提供する絶好の場であり、エアバドミントンコートは、ビーチや公園などで、エキサイティングな新スポーツとなりうる可能性を秘めているのです。

伝統的なビーチバレーのコートは16m×8mなのでコートの幅を左右1mずつ狭くし、コートの前面に2本のラインを引きデッドゾーンを作ればすぐにエアバドミントンコートに転用する事が出来ます。



導入手順



24. エアバドミンントンの推進目標	33
25. 戦略的アプローチ	34
26. 国内での実施	35

Part5 導入手順

24. エアバドミントンの推進目標

私たちが提案する4つの推進目標は、BWFのビジョンである「世界中のあらゆる年齢層のあらゆる能力の人々に、いつでもどこでもバドミントンをプレーしてもらう」につながり、以下の構想で支えられています。

エアバドミントン 2020-2024 の推進目標

参加	プロモーション	用具とインフラ	競技会
すべての人の為のスポーツとしてのエアバドミントン発展を支援・奨励する。	エアバドミントンの魅力を新しいグローバルスポーツとして発信する。	エアシャトルの入手を確保、用具や公共コートを利用できるようにする。	世界的にアピールする為にサンドコートでのビーチ大会を開催する。



25. 戦略的アプローチ

BWF は、以下の戦略的アプローチを活用し、4つの推進目標を具体化してゆきます。

テーマ1：参加
すべての人のためのスポーツとして、
エアバドミントンの発展を支援・奨励する。

戦略的アプローチ

- 大陸連盟および各国協会と協力し、エアバドミントンの普及活動の新たな可能性を模索し、認知度・参加率を向上させる。
- エアバドミントンムーブメントキャンペーンを展開し、実施する。
- エアシャトルを利用して、シャトルタイム・プログラムをさらに発展させる。
- バドミントンとエアバドミントンの健康効果について調査を行う。

テーマ2：プロモーション
エアバドミントンの魅力を
新しいグローバルスポーツとして発信する。

戦略的アプローチ

- エアバドミントンの認知度向上とメディア露出の増加。
- エアバドミントンのブランドと文化の創造、発展、実践。
- バドミントンとエアバドミントンが、あらゆる年齢層の人々にとって健康的でインクルーシブな活動である事を広める。
- 加盟協会が自国でエアバドミントンを紹介し、普及させるための努力を支援する。

テーマ3 設備とインフラ
エアシャトルの入手を確保、
用具や公共コートを利用できるようにする。

戦略的アプローチ

- 公園、ビーチ、道路など、公共の場所を最大限に活用する。
- 公共スペースに常設のエアバドミントンコートを建設する為の創造的な解決策を考案する。
- エアバドミントンの活動に関連した持続可能性とレガシー・プログラムを確保する。
- エアシャトルと用具の世界的な流通と入手可能性を確認する。

テーマ4 競技会
世界的にアピールする為に
サンドコートでのビーチ大会を開催する。

戦略的アプローチ

- チーム対抗リレー競技をベースとした新しい屋外競技構造を開発する。
- エアバドミントンの大会に参加する参加者と観客に新しいバドミントン体験を提供する。
- 関連スポーツ団体との戦略的パートナーシップを構築する。
- マルチスポーツやビーチゲームにおけるスポーツプログラムの一部として参加する





26. 国内での実施

エアバドミントンプロジェクトを国内で実施するためには、新しい屋外競技を実施する戦略的環境を整える必要があります。

実施活動は、その国の状況に応じて最適なものを選択する必要があり、異なる地域のニーズを満たすように調整する必要があります。

この新ゲームの世界的展開には相互協力が不可欠であり、どの組織でも単独の力ではとても成し遂げられないでしょう。主要なパートナーやサポーターと協力し、長期的に持続可能なアプローチをとる事が重要です。

各国バドミントン協会は最終的には自国でエアバドミントンを実施する必要がありますが、大陸連盟と BWF はその活動に必要な各種サポートを提供する事が可能です。

BWF	アジアバドミントン連盟	各国バドミントン協会
<ul style="list-style-type: none"> ■ エアバドミントンを実施するためのガイドラインを作成する。 ■ ガイドラインをBWFのウェブサイト上で多言語化する。 ■ エアバドミントンのコンセプト、製品、利点をマーケティングし、宣伝する。 ■ エアバドミントンに関連する用具、スポンサー、パートナーの調達を支援する。 ■ エアバドミントンの実施に関するワークショップやフォーラムを開催する。 ■ キックオフ後のテストプロジェクトの運営を支援する。 ■ 国際大会の枠組みを作る。 ■ プログラムの実施を国際的にモニターし、評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各国バドミントン協会への製品プロモーションを行う。 ■ 各国協会のニーズを評価し特定する。 ■ 大陸/地域の実施計画を決定する。 ■ 地域におけるエアバドミントンの活動を支援する。 ■ エアバドミントン関連用具スポンサーやパートナーの調達を支援する。 ■ 地域におけるプロジェクトの実施状況を監視・評価し進捗状況についてBWFに情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ エアバドミントンの国内連絡先を特定し、配置する。 ■ 国内導入戦略を決定する。 ■ 主要なステークホルダー（スポーツ助成団体、スポーツ省、加盟クラブ、協会）の協力を仰ぎ導入プランを策定し、プロジェクトへの協力姿勢を確保する。 ■ 国内バドミントン協会のスタッフに、エアバドミントンの関連要素をすべて把握させる。 ■ 用具供給業者と協定を結ぶ。 ■ 全国的な大会組織を作る。 ■ 国内でのプログラムの実施状況を監視・評価し、大陸連盟に進捗状況の情報を提供する。

よくある質問



27. よくある質問

37

Part 6 よくある質問

27. よくある質問

エアシャトルはどこで購入できますか？

エアシャトルの販売店リストは下記をご覧ください

www.airbadminton.sport

エアバドミントンと室内バドミントンコートの主な違いは何ですか？

主な違いは、コートの設計と寸法です。エアバドミントンのコートには、コート前面に2mのデッドゾーンがあり、エアシャトルがそのエリアに着地した場合フォルトとみなされます。

なぜデッドゾーンがあるのですか？

エアシャトルの特性上、ネットショットのコントロールが非常に難しいため、ネットから離れた位置でのストロークを促し、ラリーをしやすいするためにネットエリアが設けられています。プレーヤーはエアシャトルを打つためにデッドゾーンの中に入ってははいけません。ヒット後、デッドゾーンの内側に足を踏み入れたり、着地することは可能です。

エアバドミントンはどこでできますか？

エアバドミントンはどこでもプレイできます：世界中の公園、庭園、道路、運動場、ビーチで。ハード面、芝生、砂浜など、平らで安全な場所であればどこでもプレイできます。

エアバドミントンのコートを作るための設備は何が必要ですか？

エアバドミントンコートの設営はとても簡単です。必要なのはネットシステムとラインだけです。

コート設営のチュートリアルビデオをご参照ください。

www.airbadminton.sport

従来のバドミントンコートでエアバドミントンをプレーできますか？

もちろんです！エアバドミントンは既存の屋外バドミントンコートでもプレーできます。

従来のバドミントンラケットでエアバドミントンはできますか？

はい。エアシャトルは既存のラケットでプレーできるよう特別に設計されています。エアシャトルのデザインと屋外でのプレーを考慮し、プレーする際には、低めのテンションで（8-9kg/17.520lbs）より耐久性のあるストリングを使用することをお勧めします。

従来のバドミントンのシャトルコックで、エアバドミントンをプレーできますか？

既存のシャトルコックを使ってエアバドミントンをプレーすることは可能です。しかし、ゲームとコートはエアシャトルの特性に基づいて特別に開発されています。そのため可能な限りエアシャトルでプレーすることをお勧め致します。

エアバドミントンは従来のバドミントンと同じ健康効果がありますか？

プロジェクトのテストとゲーム開発段階で収集したデータから、エアバドミントンはバドミントンと同じ健康効果をもたらすことが確認されています。実際、砂の上で競技するために必要な身体への負荷は、バドミントンよりもさらに高いと言われています。

エアバドミントンのサービスマークは？

サイドライン上に3mのマーカーがあります。プレーヤーは、コート内のこのマーカーの後方から、両足を静止させてサーブをしなければなりません。

エアシャトル全体は、インパクトの時点でネットの高さより下でなければなりません。その後、エアシャトルの飛行はサーバーのラケットから上方に飛んで行きます

なぜ砂地ではネットの高さが1.45mに設定されているのですか？

砂地でプレーする場合、プレーヤーは砂に沈みます。ネットの高さを1.45mにすることで、ミスが減り、ラリー数が増加するというデータがあります。

エアバドミントンにはどのような種目がありますか？

エアバドミントンは、従来のバドミントン種目同様に行うことができますが、BWFが推奨するエアバドミントン種目は、男子ダブルス、女子ダブルス、ミックスダブルス、トリプルの4種目です。

エアバドミントンは誰がプレーできますか？

エアバドミントンは、年齢、能力、性別、経験レベルに関係なく、誰でも楽しむことができます。又、障がいのある方々でも広く楽しめる競技です。

トリプルはどのようにプレーするのですか？

トリプルは、チームメイト間の優れた戦略とコミュニケーションが鍵となる、新しいテンポの速いエキサイティングな種目です。プレーヤーは2回連続してリターンを打つことはできず、次のリターンをチームの他のメンバーに任せなければなりません。このルールにより、より多くの動きが生まれ、ゲームの戦略的要素が高まります。

何故 エアバドミントン？

仲間との参加
わくわくエキサイティング

誰もが楽しめる
競技です。

たった1時間で
約450calを消費します。

ストレス解消

スピード、体力、
敏捷性を養います。

子供たちの近視リスク
を削減

ハード面、芝生、砂浜などどこで
もプレイができます。

ダイエットにも
ピッタリ

 **AirBadminton**
The New Outdoor Game

BWF 世界バドミントン連盟

Badminton World Federation

Unit No. 1, Level 29, Naza Tower, Platinum Park, No. 10, Persiaran KLCC, 50088 Kuala Lumpur, Malaysia
Tel: +603 2381 9188 **Fax:** +603 2303 9688 **Email:** airbadminton@bwfbadminton.org **Website:** www.airbadminton.sport